

「docomo R&D Open House 2017 in TOKYO」 「見えてきた、“ちょっと先”の未来 ～5Gが創る 未来のライフスタイル～」 同時開催

2017年11月9、10日の2日間にわたり、日本科学未来館（東京都お台場）にて「docomo R&D Open House 2017 in TOKYO」を開催しました。また、同会場にて、2017年11月9～11日の3日間にわたり、「見えてきた、“ちょっと先”の未来 ～5Gが創る未来のライフスタイル～」を同時開催しました。

ドコモR&Dでは中長期的な取組みを通じて、お客様1人ひとりの豊かなライフスタイルを革新するサービスの創出、および社会課題の解決に取り組んでいます。開催の主な目的は、2020年サービス開始をめざす5G、および、ドコモで研究開発中の技術・サービスをお客様に直接見て、体感していただくことで、未来への期待感を醸成することです。

従来、神奈川県横須賀市のR&Dセンタにて、大学関係者、法人パートナー向けに開催していました

が、今回は来場者のアクセスの良さを重視し、初めて都内での開催としました。また、ドコモR&Dの先進性・技術力を世の中に広くお伝えするため、対象者を一般の方にも拡大しました。

会場では、5Gに向けた取組みをはじめ、AIプラットフォームやIoT（Internet of Things）に関する技術など最新の研究開発成果について、展示・講演を通じて紹介しました。結果として、昨年度の3倍以上となる約8,400人の来場者を迎え、盛況のうちに終えることができました。

初日の基調講演では、中村 寛 取締役常務執行役員R&Dイノベーション本部長が「未来を創り続けるドコモR&D ～5G時代の協創イノベーション～」と題して、ドコモがめざす未来やR&D中期重点テーマについて紹介しました。2日目の特別講演で



写真1 中村 寛 本部長による基調講演

は、尾上 誠蔵 ドコモ・テクノロジー株式会社 代表取締役社長が「5G－いまだから語れる過去・未来」と題して、5Gが実現すること、5Gの経済学、5G標準化であった事とその背景に加えて、将来の予言について語りました。

また、谷 直樹 執行役員IoTビジネス部長 兼 コネクテッドカービジネス推進室長、大野 友義 執行役員 R&D戦略部長 兼 イノベーション統括部長、中村 武宏 5G推進室長による講演を実施し、講演のすべての回について、聴講整理券がすべて配布済となるほど来場者の関心が集まりました。

展示ではNTTからの10件の出展を含む、計110件の研究開発成果について、『R&D Open House』と『見えてきた、“ちょっと先”の未来』の2部構成で紹介しました。『R&D Open House』では、テクノロジーを切口として、「ネットワーク」「AIプラットフォーム」「IoT・プラットフォーム」「デバイス

&インタラクション」「イノベーションチャレンジ」「ソリューション」の6つのゾーンに分けて展開し、『見えてきた、“ちょっと先”の未来』では、未来のライフスタイルを切口として、「5G Experience」「Living」「Learning」「Traveling」「Exciting」という5つのゾーンに分けて、紹介しました。

(1)R&D Open House

①「ネットワーク」

5G導入に向けたネットワーク高度化の取り組みや5G屋外伝送実験の展示、5Gリアルタイム電波ビジュアライザなどを紹介しました。

②「AIプラットフォーム」

究極のAIエージェント実現に向けた取り組みをコア技術と具体的なアプリケーションで紹介しました。

③「IoT・プラットフォーム」

セルラIoTを支える技術やIoT向けLPWA (Low Power Wide Area) 対応実証実験用デバイス・プロトタイプ、ドローン利用拡大に向けたネットワーク基盤の取り組みなどを紹介しました。

④「デバイス&インタラクション」

モバイルサービスの進化を切り開くデバイス技術や新たなUI/UXを実現するインタラクション技術を紹介しました。

⑤「イノベーションチャレンジ」

分野・領域を問わず、アイデアの生出しフェーズのイノベーションチャレンジ事例を紹介



写真2 尾上 誠蔵 社長による招待講演

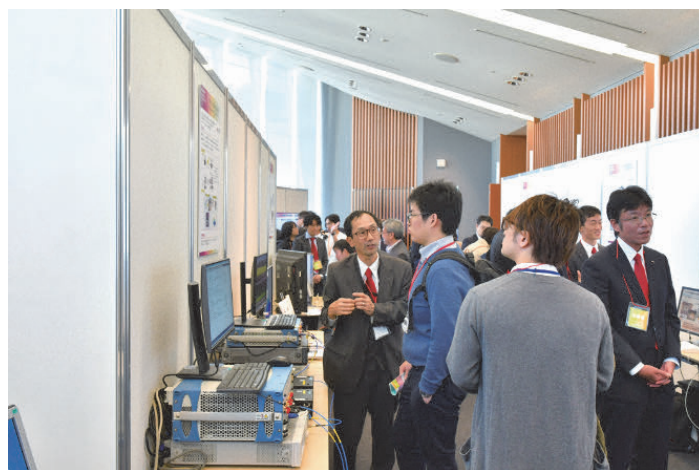


写真3 展示の様子

介しました。

⑥「ソリューション」

呼吸測定装置による健康管理ソリューションや、VR体験ができるパッケージサービスなどを紹介しました。

(2) 見えてきた、“ちょっと先”の未来

①「5G Experience」

5Gを用い低遅延で動作する遠隔操作システム、5GとARを使ったスポーツ観戦のデモ、VRによるバーチャル展示会ツアーの展示、5Gを使って遠隔地にいる人が目の前にリアルタイムに再現されるシステムなど、5Gを使った未来の生活シーンを体感していただきました。

②「Living」

未来の家（リビング）での生活を、より豊かにする技術の具体例として、魔法のホワイト

ボード“トモカク”や家族をつなぐホームコミュニケーションデバイス“petoco”、ジェスチャ操作可能なパーソナライズドスクリーンの展示、目が合う対面型ビデオ通話などを体感していただきました。

③「Learning」

ロボットを通して学ぶ新しいスタイルとして、プログラミング教育用段ボールロボットや、音楽の先生のようなロボットを体感していただきました。

④「Traveling」

海外旅行で役に立つ翻訳技術や、人工知能（AI）やIoTを活用した旅行先での新しい移動手段を体感していただきました。

⑤「Exciting」

最新技術による新しいエンターテインメント



写真4 「5G Experience」展示の様子



写真5 浮遊球体ドローンディスプレイのデモの様子

として、立体的な映像が空間に浮かんでいるように見える3D映像や臨場感のある8Kパノラマ映像などにより、会場にいらなくても、あたかも目の前で音楽ライブや競技などが行われているかのように楽しむことができるデモを体感していただきました。

この他屋外でも、「Living」のAI、IoTを通じて快適な暮らしをサポートする“未来の家プロジェクト”や「Traveling」の都心部の駐車場不足の問題を解決する“docomoスマートパーキング”のデモや、新たな交通の仕組みである“AI運行バス”の試乗体験を開催し来場者からの関心を集めました。

ドコモでは、今後も5Gの特長と、VRやAI、IoTなどの技術を活用し、お客さまのさまざまなスタイ



写真6 屋外デモの様子

ルを革新する、楽しさ、驚きのあるサービスを創り出していきます。また、日本の成長と豊かな社会の実現をめざして、社会課題の解決に取り組みます。